

H29 午後 2 問題 2 を評価して

2019/9/23 by koyano

先ず、私が考える、問題文から読み取れる題意と執筆上での留意点を述べます。

設問ア

1. 情報システム導入の目的と目標達成評価指数の設定

1.1 情報システム導入の目的と概要

特になし

私の立場(ITST)もここで述べておく。

1.2 目標達成評価の設定した指標と目標値

インターネットからの受注件数や顧客への納期遵守率などの指標と目標値
事業特性とともに述べる。

設問イ

2. 達成状況の評価とその課題

2.1 達成状況の評価とその結果 [具体的に述べる]

稼働後に設定した目標値にたいする達成状況を繰り返し評価する必要がある。

- ・客観性を担保するために定量情報を収集
- ・ヒアリングでは偏った意見収集にならないように配慮
- ・達成状況は業務面、システム面で実現度合いを対象に評価

上の三つの内一つは採用しよう。

2.2 業務面、システム面の課題 [具体的に述べる]

(1) 業務面の課題

(2) システム面の課題

原因の分析を行った上で、業務面、システム面の課題を抽出する。

業務面を忘れるな。

設問ウ

3. 経営者への説明と改善点 [具体的に述べる]

3.1 経営者への説明

今後の経営環境の変化及び情報システム導入の目的に照らし合わせ、課題を解決することによる目標達成への貢献の見込み、課題解決への緊急度を整理した上で、課題対応の優先度もあわせて説明することが重要である。

(1) 評価の結果

(2) 業務面の課題

(3) システム面の課題

特になし

3.2 経営者の意見と改善点

特になし

意見の実現を記述するスペースと時間はない。ので、今後その方向で検討して行くでよい。

◆当該論文作成時の情報

- 1, 論文作成は、この準備期間で何回目のトライなのか。⇒2回目
- 2, 論文作成に、何時間掛けたのか。⇒7時間
- 3, 論文作成は、⇒初めから PC 入力

A の評価とさせていただきます。

十分に合格圏内にあります。マイナス箇所も見つかりません。問題文と設問に応えている、内容も筋が通っている、文章も読みやすく明解です。丁寧に構成と文章推敲された結果だと思えます。

過去の添削論文(含む PM)から今回までをみても、銀行システムの構築経験が豊富のようですね。導入の背景や問題点やこうすべき姿が良く述べられています。ですから十分に話材は持っておられます。手書き一発はPC入力のように修正が簡単にできませんので、当然文章品質は劣りますが、本番では気にしない気にしない。

本試験では3問から1問選択です。問題文のザットした掴みと設問イとで一番適合しやすそうな問題を選択してください。

午後Ⅰの感触が悪いと、午後Ⅱの意欲が萎えますので、午後Ⅰは過去4年分(4*4=16)はやりましょう。

検討を祈ります。

後日、ご本人より「当該試験は**初回で合格した**」との報告を受けました。

平成29年間2 評価票							2019.9/23	
条件	内容	重み	基準		評価		コメント	備考
条件0	作成に掛けた時間	3	5	15	1	3		★
条件1	1)設問アの字数制限「800字以内」が守られているか				○		問題なし【800】	1つでも該当すれば D
	2)設問イの字数制限「800字以上1600字以内」が守られているか						問題なし【1125】	
	3)設問ウの字数制限「600字以上1200字以内」が守られているか						問題なし【725】	
条件2	1)設問アを反映している見出しか	3	5	15	5	15		
	2)設問イを反映している見出しか	3	5	15	5	15		
	3)設問ウを反映している見出しか	3	5	15	5	15		
条件3	1)ア見出しに合致した内容になっているか	2	5	10	5	10		
	2)イ見出しに合致した内容になっているか	2	5	10	5	10		
	3)ウ見出しに合致した内容になっているか	2	5	10	5	10		
	4)ア問題文で問われている内容になっているか	3	5	15	5	15		
	5)イ問題文で問われている内容になっているか	3	5	15	5	15		
	6)ウ問題文で問われている内容になっているか	3	5	15	4	12		
条件4	読みやすい丁寧な字で記述されているか	1		0		0	pc入力のため	
条件5	ITSTは経営層の意向を理解しているか	1	5	5	4	4		
	ITSTの立場を明確にしているか	1	5	5	5	5		
条件6	1)結論が先に記述されているので分かりやすいか	1	5	5	5	5		
	2)理由が記述されているので分かりやすい	1	5	5	5	5		
	3)どのようにも取れる曖昧な表現はしていないか	1	5	5	5	5		
	4)設問イ、具体例が記述されているか	2	5	10	5	10		
	5)設問ウ、具体例が記述されているか	2	5	10	4	8		
条件7	1)アの記述量は空行3行以下まで記述されているか	1	5	5	5	5	0空行	
	2)イの記述量は最低字数制限の1.2～1.6程度は記述されているか	1	5	5	5	5	(975)<【1125】<(1300)	
	3)ウの記述量は最低字数制限の1.2～1.6程度は記述されているか	1	5	5	5	5	【725】=<(725)<(975)	
	4)アイウの各段落の記述量が適切であるか	1	5	5	4	4		
条件8	1)一文が長からず読みやすいか	2	5	10	4	8		
	2)「である」調、句読点の禁則など統一され、最低限の記述スタイルが守られているか	1	5	5	5	5		
	3)修飾部、複文の入れ子構造などを多用せず、気にならないか	1	5	5	5	5		
	4)受け身表現を多用せず、気にならないか	1	5	5	5	5		
条件9	専門的な知識が記述されているか	2	5	10	3	6		
条件10	定量的表現がされているか	1	5	5	4	4	厳密さは問われない	
合計			240		214			
評価					89.2%			
(A:100～77 B:76～60 C:59～45 D:44～0)								
★5:手書きで～2H、4:手書きで2.1～2H30M又はPCで～2H、3:2.1～3H以内、2:3.1～6H以内、1:6.1H～								

詳細コメント

凡例

- ◎ 良い箇所です。
- × マイナス箇所です。
- △ 小さいけど改善が欲しい箇所です。

設問ア原稿

◎ 1-2. 節、申込から融資実行までの指標値の目標 1か月ほど→平均4日
⇒このように、前後比較することで(私のようなネットワーク屋でも)納得できます。

◎ 1-2. 節、事業特性の見出しと内容
⇒設問に事業特性とともに、とあります。中見出しに入れているので、落とさず記述できたのではないのでしょうか。

△ 1. 見出し 3. 見出し
⇒大見出しが、中見出しの足し算でダラダラと長くなるのは避けたいです。ただマイナスになる程のものでもありません。(私の好みの問題か)

設問イ原稿

◎ 2-1. 節、例えば、下記などは本試験論文向きの文章展開でよい書き方だと、私は思います。

「①工夫した点としては、融資申込と融資実行の実施時間につき、本番ログを参照して取引毎に取得することとし、両者の差異を計測することで、所要時間を実測した。②なぜならば、③客観性を担保するために、定量情報を収集し、これを用いて評価を実施すべきであると考えたからである。融資実行に至るまでの資料の提出を支店に依頼し、この情報をもとに所要時間を計測する④方法もとれたが、客観性が担保できないおそれがあったのである。」

- ①工夫点が明確に読める ②理由が明確にわかる
- ③問題文に述べられている観点を採用している ④逆の面からも述べて補強している

◎ 2-2. 節の(1) 業務面の課題 (2) システム面の課題の終わり方
⇒文章の終わり方で「・・・と私は考えた。」のように(1)(2)とも揃えていると小気味よく読めます。

設問ウ原稿

△ 3-1. 項、問題文にある「今後の経営環境の変化及び情報システム導入の目的に照らし合わせ、課題を解決することによる目標達成への貢献の見込み、課題解決への緊急度を整理した上で、課題対応の優先度もあわせて説明することが重要である。」

⇒下線部分を考慮した記述が欲しいが。

本論文では業務面の課題、システム面の課題を一つずつ挙げています。それぞれ対応する部署が違うので、優先順位づけの必要がないと思われます。が、問題文の意図を重視すれば、他部門の協力が必要な利用拡大、普及活動に先ずは力を入れる、としてはどうでしょう。システム面のアルゴリズム見直しは今後継続的に行う活動だし。

以上